

## 教員養成大学・学部附属学校の研究成果の提供・還元の在り方に関する研究 — 中学校社会科公民的分野「財政教育プログラム」を例に —

### 【代表者】

岩野清美 和歌山大学 教育学部 准教授

### 【共同研究者】

峯明秀 大阪教育大学 教育学部 教授

### 【研究概要（申請書より抜粋）】

国立教員養成大学・学部、大学院、附属学校の改革に関する有識者会議では、附属学校の在り方についても検討がなされ、報告書では、その研究成果の地域への提供・還元のありようについても言及されている。

和歌山大学教育学部附属中学校では、平成 27 年度より全国国立大学附属学校園 PTA 連合（以下、全附 P 連）の協力のもと、財務省と連携しての財政教育プログラムに取り組み、授業公開はもちろん、その成果を「公立学校で利用可能な授業パッケージ」として授業プランを全附 P 連のウェブサイトで公開するなど、研究成果の提供・還元のありようを工夫し、公立学校における実践事例も増えつつある。しかしながら、実践が広がりにくいのが現状である。

このような現状に鑑み、研究成果を具体的な教材（教具）として地域の公立学校に提供することの効果について検討したい。授業公開や授業プランの提供で、授業の「良さ」は現場の先生方に伝えることができる。しかしながら、「良い」授業を現場で実践しようとするならば、生徒の学習活動を促す、教材・教具づくりは必要不可欠であり、このボトルネックを解消することで、より効果的に、附属学校での研究成果を地域の学校に広げていけるものと考えられる。

### 【研究成果（報告書より抜粋）】

- 国立教員養成大学・学部、大学院、附属学校の改革に関する有識者会議では、附属学校の在り方についても検討がなされ、報告書では、その研究成果の地域への提供・還元のありようについても言及されている。和歌山大学教育学部附属中学校では、平成 27 年度より全国国立大学附属学校園 PTA 連合（以下、全附 P 連）の協力のもと、財務省と連携しての財政教育プログラムに取り組み、授業公開はもちろん、その成果を「公立学校で利用可能な授業パッケージ」として授業プランを全附 P 連のウェブサイトで公開するなど、研究成果の提供・還元のありようを工夫し、公立学校における実践事例も増えつつあった。しかしながら、その広がりには、課題もあるのが現状であった。このような状況を踏まえ、本研究では、下記 3 点の取り組みを行った。
- ・ 附属 3 校における研究の交流と教材開発（2018 年 5 月 17 日、2019 年 2 月 14 日）。
  - ・ 開発した教材の附属学校での実践と地域への公開。協議会の開催（2019 年 2 月 14 日。参加者 18 名）
  - ・ 開発した教材の地域の学校での実践と授業公開。協議会の開催（2019 年 2 月 26 日。有田市立文成中学校。参加者 8 名）

上記 3 点の取り組みを通し、附属学校の研究成果の地域への提供・還元について、特に教材の共同開発、授業構成、公開授業の周知等に関し、一定のノウハウを積むことができたと考える。

### 研究業績

※助成期間中に本研究課題を基に発表した著書、学術論文、学会発表、報告書等

著書名/論文名/発表タイトル 等	発表年	出版社名/掲載雑誌名/学会名等
岩野清美「主権者教育のカリキュラム・マネジメントに関する研究」	2019年2月	和歌山大学教育学部連携事業成果報告会
岩野清美、他 9 名「主権者教育のカリキュラム・マネジメントに関する研究」	2019年2月	和歌山大学教育学部連携事業『平成 30 年度成果報告書』 pp.19-23